

ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 11 月 2 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



マイコプラズマ肺炎に注意しましょう！

マイコプラズマ肺炎の患者数が県内で増加しています。

学童期の患者が多く、
学校で出席停止となる
児童・生徒の数も増加しています。

どんな病気？

肺炎マイコプラズマという細菌
による呼吸器感染症で、
15 歳未満の方がかかりやすい
疾患です。

潜伏期は 2～3 週間と長く、
発熱、頭痛、咳などの症状が
みられます。

咳は遅れて始まることもあり、
熱が下がった後も
3～4 週間続くことが特徴です。

コンコン



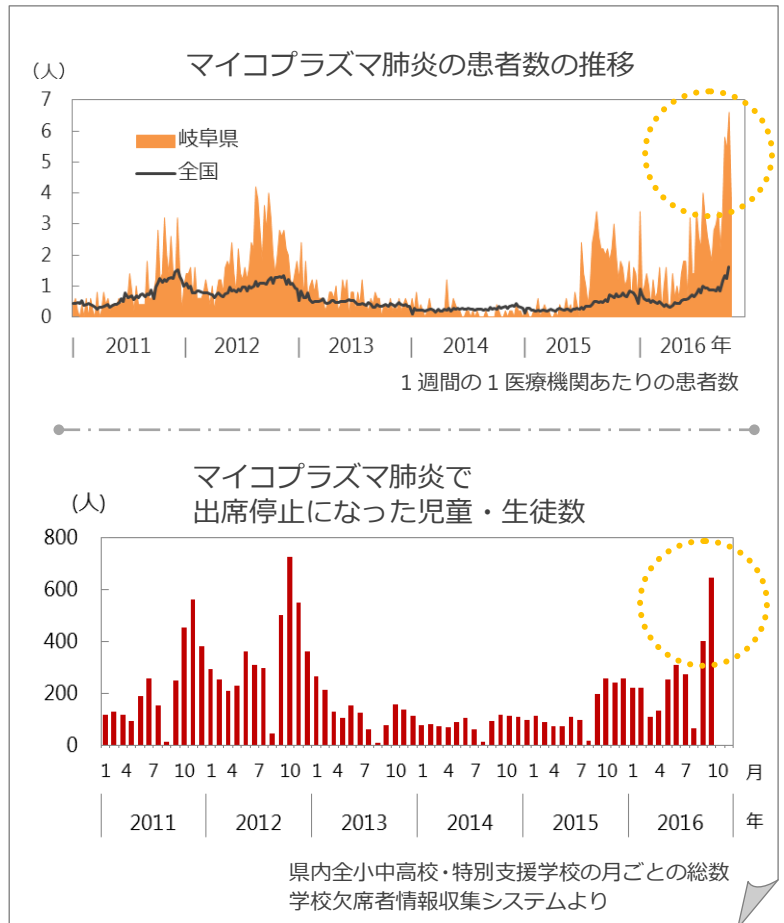
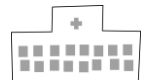
かかっても
比較的元気なことが多いですが、
診断が遅れると重症肺炎となることがあるほか、
まれに、脳炎、髄膜炎などの合併症をおこすこともあります。

どうやってうつるの？ 予防方法は？

感染している人の咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**や、
病原菌の付いた手指などを介した**接触感染**によってうつります。

予防には、**手洗いやうがい**を徹底することが大切です。

また、咳が出るときはマスクを着けるなど、**咳エチケット**を心がけ、
咳が続く場合は、**早めに医療機関を受診**しましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

